

数学科 中学校 1年

単元名「文字の式」
—関係を表す式—第12時

本時の目標

○文章から数量関係を理解し、等式に表す。

本時の流れ

本時の目標把握

- ・本時の目標を理解する。

【目標】

数量の関係を等式に表そう。

日常生活の場面を思い浮かばせて、数量の関係を等式に表させる。

基礎の復習

- ・数量を文字を使って表す練習をする。

【課題①】

小林さんは、毎月 a 円ずつ7ヶ月間貯金して、1枚 b 円の音楽CD 2枚と8000円のCDプレーヤーを買いました。貯金した額と、代金の合計を式に表しましょう。

- ・2つの数量が等しい場合には、等式を作ることができることに気付かせる。
- ・左辺と右辺は同値なので、入れ替えても等式が成り立つことに気付かせる。また、その際に、両辺の単位についても注意させる。

用語の理解

- ・右辺、左辺、両辺、等式といった用語を理解する。

【課題②】

兄の身長 a cm は、弟の身長 b cm よりも4cm 高い。このことを等式を使って表しなさい。

- ・つり合っているものが何であるか、問題文に下線を引かせて、把握させる。

課題把握と解答

- ・課題②を把握し、解答を求める。

【課題③】

「兄の身長 a cm は、弟の身長 b cm よりも4cm 高い」この文章を、同じ意味の文章に言い換えなさい。また、言い換えた文章を等式に表しなさい。

- ・文章の関係を、図や絵として板書し、正しく理解させる。
- ・
$$a = b + 4$$
$$a - 4 = b$$
$$a - b = 4$$

という3つの式がどれも成り立つことを理解させ、式を比べさせる中で、後の学習の「移項」の考え方につなげさせる。

課題把握

- ・課題③を把握する。

考えの表現<個人>

- ・文章の関係を正しくとらえ、言い換えた文章を2種類ともノートに書く。

活用の力を育てる評価の視点

学習のまとめ

- ・評価問題を解く。
- ・本時を振り返る。

- ・文章の関係をしっかりと理解し、言い換えることができる。(思考)
- ・文章の関係を等式に表すことができる。(表現)

HOME

単元の流れへ

評価問題

CLICK